第４講
人口・都市

［第１章］ 人口

人口上位10か国については国名と人口規模を知っておきましょう。

◆ 人口上位10か国

１位	中国	14億人	世界の５人に１人が中国人。
２位	インド	13.5億人	中国を超える人口増加率で，近い将来１位となる。
３位	アメリカ合衆国	３億人	移民の流入などで，先進国としては高い人口増加率。
４位	インドネシア	2.5億人	世界最大のイスラム教徒人口。
５位	ブラジル	２億人	面積も５位。人種のるつぼ。
６位	パキスタン	２億人	乾燥した国土を有する。外来河川インダス川。
７位	ナイジェリア	２億人	アフリカ最大の人口規模。
８位	バングラデシュ	1.6億人	ガンジス川デルタ。人口密度が高い。
９位	ロシア	1.4億人	旧ソ連時代は人口３億人。
10位	メキシコ	1.3億人	アメリカ合衆国への移民も多い（ヒスパニック）。
（参考）11位	日本	1.25億人	年間に30万人ほど人口が減少している。

◆ 人口小国

→人口規模が小さいことが特徴である国。人口は500万人程度。

→シンガポール，北欧諸国（ノルウェーやデンマーク），ニュージーランド。

◆　西ヨーロッパの人口

→５か国の人口規模が大きく，それ以外は小国が並ぶ。

→ドイツ(8000万人)，フランス・イギリス(6500万人)，イタリア(6000万人)，スペイン(4500万人)。

→これ以外の国々は，オランダがやや大きいものの(1500万人)，ほとんどが人口1000万人程度かそれ以下の小国。

> ***take care!***
>
> 西ヨーロッパ諸国は概して１人当たりGNIが高く(その中でも北ヨーロッパとポルトガルとで２倍以上の差はあるが)，１人当たりGNIと人口の積によって求められるGNIについては，人口が多い国において大きな値になっていると考えていい。

◆　人口規模を知っておくといい国

→韓国；5000万人。日本の半分以下。

→タイ；7000万人。決して人口大国ではない。米の輸出余力が大きい。

→マレーシア；3000万人。タイよりGNIは小さいが，１人当たりGNIは高い。

→カナダ；3500万人。広大な国土を有し，人口密度が低い。

→オーストラリア；2500万人。広大な国土を有し，人口密度が低い。

> ***take care!***
>
> 韓国の人口は5000万人に達したが，合計特殊出生率は日本を下回る1.2人程度であり，日本同様に人口減少社会に突入することが予想されている。中国も一人っ子政策の影響で将来的に人口が減少すると予想されている。東アジア地域の未来は暗い？

<たつじん先生からのひとこと>

　人口はそのままの形で出題されることは少なく，計算や他のデータとの組み合わせで問われることが多いのです。例えば過去には人口密度が問われました。面積は，ロシアが日本の約45倍，カナダとアメリカ合衆国が約26倍，中国が約25倍，ブラジルが約23倍，オーストラリアが約20倍，インドが約９倍。日本の人口密

度は約340人／km^{2}であるのですが，人口規模がほぼ同じで面積が45倍違うロシアの人口密度は10人／km^{2}を下回ります。人口が10倍以上大きく，面積が9倍であるインドの人口密度は，日本より高く算出されます。

[第２章] 世界の人口

「数字で世界を捉える」ことは地理的思考力の向上につながります。世界を「人口」という数字を用いて俯瞰していきましょう。

＜２－１　世界と地域の人口＞

世界と地域ごとの人口を，具体的な数値として頭に入れておきましょう。

◆　世界の人口

→2000年に60億人を突破し，2012年に70億人に達した。

→現在１年に１億人弱のペースで増加。年平均人口増加率は１％強。

> ***take care!***
> 人口増加率は，変化した人口を元の人口で割ることによって求められる。今年の人口が101人で，昨年の人口が100人ならば，この１年間の人口増加率は１％である。

◆　地域ごとの人口分布

→2017年現在，世界人口75億人（数値は概数。以下同）。アジア・45億人，アフリカ・13億人，ヨーロッパ（ロシアを含む）・7.5億人，アングロアメリカ（アメリカ合衆国とカナダ）・3.5億人，ラテンアメリカ（メキシコ以南）・6.5億人，オセアニア・0.5億人。

→おおまかな値として覚える。世界人口を72億とし，９億人を一つの単位として，８つの地域に分かれて住んでいると考える。

アジア	45億人（９億人×５）	人口密度も高い。
アフリカ	９億人（９億人×１）	現在は13億人。
ヨーロッパ＋旧ソ連	９億人（９億人×１）	ヨーロッパ；5.5億人 旧ソ連（ＣＩＳ）；2億人
南北アメリカ	９億人（９億人×１）	アングロアメリカ（北アメリカ）；3.5億人 ラテンアメリカ（中南アメリカ）；6.5億人
オセアニア	０億人（９億人×０）。	人口密度も低い。

アフリカの値が不正確だが，９億人＋アルファと考えて欲しい。同様にヨーロッパ＋旧ソ連は，９億人－アルファ。いずれにせよ，アジアに極端に人口が集中している様子がイメージできるだろう。

take care!

人口規模は農業生産力と対応させて考えればいいだろう。温暖多雨で稲作（米はカロリーが高く，多くの人口を支える）が盛んなアジアは人口が多く，人口密度も高い。乾燥地域で農業に適さない西アジア，北アフリカ，オセアニアは人口が少なく，人口密度も低い。

＜たつじん先生からのひとこと＞

まさか人口が現在でも等比級数的に増加しているなんて考えている人はいませんよね。世界の人口増加率は約１％。グラフを想像してみたらいいと思うけれど，実は「人口爆発」的な増え方はしていないのです。衛生環境の改善と医療技術の発達で，現在多くの国々で平均寿命が延び，高齢者の割合が上昇しています。子どもを生むことができない世代が増加する21世紀，かつてほど人口増加の度合いは高くはないのです。

＜２－２　地域ごとの人口増加率＞

地域(大陸)ごとの人口増加率も数字として覚えておきましょう。

◆　人口増加率の考え方

→人口増加は，自然増加(出生－死亡)と社会増加(転入－転出)を合わせたもの。

→世界や国の人口増加を考える場合，国境を越える人口移動は相対的に少ないので，自然増加を中心に考える。例えばアフリカ大陸は社会増加はマイナスだが，自然増加が大きくプラスとなっており，全体の人口増加もプラスである。

→日本国内の都道府県や市町村の人口増加については社会増加を中心に。人々の移動によって，人口が増減する。

take care!

例えば世界規模でみた場合，アフリカの人口増加率が高いのに対し，日本国内ならば大都市圏の人口増加率が高い。前者は経済レベル(１人当たりGNI)の低い地域，後者は高い地域と，正反対の傾向である。自然増加を中心に考える世界の人口増減は，１人当たりGNIの低い地域だからこそ多産となり，人口増加率が高くなる。社会増加を中心に考える国内の人口増減は，賃金水準の高い大都市圏だからこそ人口が流入し，人口増加率が高くなる。その違いを意識しよう。

◆　地域ごとの人口増加率

→世界全体では１％(10‰)強。

→原則として，１人当たりGNIに反比例する。しかし，経済レベルの低さに比べ比較的人口増加率が低い中国や，その反対のアメリカ合衆国など例外も多い。

人口増加率	地域	主な要因
２％	アフリカ	子どもの労働力が期待され，多産である。
1.5％	ラテンアメリカ（＊）	カトリックは中絶と離婚を禁じる。
	南アジア	インドのヒンドゥー教は多産を奨励。
1.0％	（世界平均）	
0.5％	アングロアメリカ	移民を多く迎え入れる。
	東アジア	中国は一人っ子政策で産児制限。
０％	日本・西ヨーロッパ	高齢化により相対的に出生率が低下。
	CIS（ロシアなど）・東ヨーロッパ	混乱や社会不安で出生率が低い。

（＊）近年はやや低下傾向にあり，1.0％に近づく。

なお，オセアニアは母数となる人口が少ないため，対象外としている。

take care!
この人口増加が主に自然増加によるものであることを考えよう。死亡率は地域ごとの差は小さい（人間は必ず一回は死ぬのだ）ので，上の表のような違いを主に作り出しているのは出生率である。人口増加と出生の間には重要な関係があることを意識しよう。

＜たつじん先生からのひとこと＞

人口増加率と出生率は比例します。出生率が高いということは，要するに相対的に子ども（乳幼児）の数が多いということで，幼年（０～14歳）人口割合が高くなるということです。人口ピラミッドをみれば推察できるように，どのような人口構成であっても生産年齢人口（15～64歳）が全人口に占める割合には大きな違いはありません。つまり幼年人口と老年（65歳以上）人口割合が変化することによって人口ピラミッドの形が変化しているのです。その際，幼年人口割合と老年人口割合が反比例の関係にあることを確認してください。幼年人口割合が高い地域では老年人口割合が低く，幼年人口割合が低い地域では老年人口割合が高くなります。

［第３章］都市構造

都市について学びましょう。都市とはいっても共通テストでは都市名や地名は重要ではありません。社会科学的な観点から都市構造について理解を深めることが中心となります。都市圏とは何か，都心部と郊外の違いとは何か。経済や人口移動の側面から解析を進めましょう。

＜３－１　都市構造（１）＞

都市圏という言葉は非常に大切です。都心部と郊外との対比で考えましょう。

◆　都市圏

→ある都市の影響範囲を都市圏という。中心部のオフィスに通勤する人が居住する範囲（通勤圏）が大まかな目安。

→中心に近い都心部と，周辺の郊外とに分けられる。昼間人口が夜間（常住）人口を上回るのが都心部，昼間人口が夜間人口を下回るのが郊外。都市圏全体で考えると，都市圏内の人口は，昼間も夜間も変化がない。

take care!

卵を考える。黄身が都心部，白身が郊外，卵全体が都市圏。卵の殻によって都市圏の範囲が規定されているのだが，この内側でのみ通勤者は移動し，都市圏外への移動や都市圏外からの移動は原則としてありえない。

◆　都心部

→都心部の中央にはCBD（中心業務地域）が形成される。官公庁や企業のオフィスが立地。

→商店密度も高く，デパートなど高級品を扱う店舗も。買い回り品。

→地価が高く，集約的な土地利用となる。再開発が盛ん。建物は高層化し，地下街が発達。

→再開発が進む都心中央部に対し，その周辺の旧来の市街地には古くからの商店街や中小工場も残される。ただし建物は都市施設の老朽化も進み，人口増加率は低い。若年層の流出によって，住民の高齢化も進む。

take care!

買い回り品と最寄り品について。買い回りとは「選んで買う」という意味で，高級品や耐久消費財（電化製品など）のこと。交通の便が良く，買い物客が集まりやすい都心部に買い回り品を扱う商店が多く立地する。これに対し最寄り品は日用品や生鮮食料品のことで，都市圏とは関係なく，人口分布に応じて商店が立地する。スーパーマーケットなど。

◆　ドーナツ化現象

→都心部で夜間（常住）人口が減少し，郊外に流出する現象。1960年代の高度経済成長期から顕著にみられるようになった。

→地価の高騰や住環境の悪化などが原因。

→近年は再開発や高層マンションの建設などにより，都心部への人口回帰もみられる。

<たつじん先生からのひとこと>

「都心部は人口増加率が低く，郊外は高い」ということをとりあえずセオリーとして知っておきましょう。これを前提として，しかし近年は異なった動きも生じていることを理解しましょう。

都心部は高地価であり，1960年代から継続して人口が減少する傾向がありました（ドーナツ化現象）。しかし近年は再開発や規制緩和（タワーマンションの建設など）に加え，臨海部の工業用地を住宅地に転用するなどのウォーターフロント開発も進み，都心部はむしろ人口の急増地域となっています。東京都の人口増加率が極めて高いことを知っておきましょう。

一方，地価の安い郊外は1970年代にとくに盛んとなったニュータウン開発などもあり，継続して人口増加率が高い地域となっていました。しかし近年は新たな住宅地の開発は落ち着きをみせ，奈良県などはむしろ人口減少県となっています。さらに開発後30年以上経過したことによる「古いニュータウン」の問題も生じています。30代で入居した当時の若い世代が現在は60代となっています。子どもたちは独立し街を離れ，ニュータウンはいつしか高齢者ばかりが住む「オールドタウン」となるのです。

都市構造の問題は，都心部と郊外の対比が最重要となるのですが，決して画一的な思考にならず，現実社会の情勢に合わせ柔軟に考えることが必要となります。

＜３－２　都市構造（２）＞

都市圏を考える際には，都心部と郊外との対比，とくに中心部と外縁部との対比が重要です。

◆　郊外

→都心部への通勤者が多く，夜間（常住）人口に比べて，昼間人口が少なくなっている地域。

→地価が安く，人口増加率が高い。とくに都市圏の外周部に近づくに連れ，人口増加率が高くなっていく。

→若年層が流入することによって，相対的に高齢者の数が少ない。また若い夫婦が子どもをもうけるので，出生率が高く，幼年人口率も高い。

take care!

転入や転出する人口については常に若年層が中心であると考える。人口増加地域は幼年人口率も高く，老年人口率は低い。人口減少地域はその反対。

◆　スプロール現象

→郊外における虫食い状の乱開発。農地や山地の中に，住宅地などが無秩序に配置される。インフラ整備が効率的に行われない。

→近年は計画的に都市開発を進めることで，スプロール現象も防がれつつある。

◆　衛星都市

→郊外には住宅機能に特化した都市が成立する。ニュータウン，ベッドタウン。

→古い時代に成立したニュータウンでは，住民の高齢化の問題も生じつつある。

◆　卸売業販売額

→都心部は機能も発達する。人口当たりの卸売業販売額が大きい。流通の中心となる。

→それに対し，個人が商品を購入する小売業の販売額については，１人当たりの値に都心部と郊外の大きな差はない。

take care!

卸売業販売額である点に注意。大量の商品を留め置く倉庫や流通団地などは，広い面積を必要とするので，むしろ郊外に立地しやすい。それらを管理し，経営活動を行う企業の本社は都心部に位置している。東京に本社を置く卸売業者が，千葉県や埼玉県に倉庫を所有しているイメージ。

◆　都市圏の中で変化する様々な指標

	都心部	郊外
地価	高	低
人口増加率	低	高
幼年人口率	低	高
老年人口率	高	低
昼夜間人口率（＊）	高	低
卸売業の集中の度合い	高	低

（＊）夜間人口に対する昼間人口の割合。

<たつじん先生からのひとこと>

卸売業についてイメージが持ちにくいかもしれませんね。流通業，問屋，市場などがこれに関連するキーワードです。製品は工場から直接小売店へと持ち込まれるのではありません。それぞれの店舗へと商品を「卸す」流通業者の存在が必須となっているのです。例えばイタリアからブランドバッグが輸入され，それを九州の人が購入することを想像してみてください。

イタリアからそのバッグをまとめて輸入するのは東京に本社を置く大規模な商社（これも卸売業の一つ）です。さらにそのバッグは東日本の中心（東京），中日本の中心（名古屋），西日本の中心（大阪）に本社を置く中規模の卸売業者へと分配されます。さらに大阪の卸売業者から近畿地方の中心（大阪），中国四国地方の中心（広島），九州地方の中心（福岡）に本社を置く小規模の卸売業者に送られ，最後に福岡の卸売業者から九州各県のデパートに卸されます。デパートのように直接商品を消費者に売る業種を小売業といいますが，このようにいくつもの卸売業者を

経て最後に小売業者へと商品は移送され，ようやくイタリアのブランドバッグは一般の人々に渡るのです。流通の中継点となる３大都市や地方中枢都市で卸売業が発達する様子がイメージできたでしょうか。

＜３－３　大都市圏＞

東京や大阪は巨大な都市圏を形成しています。郊外的な特徴がはっきり現れる県もあります。

◆　大都市圏

→東京区部と大阪市は巨大な都市圏を有する。とくに東京大都市圏の大きさは，東京都心を中心とした半径50kmの円の範囲に及ぶ。
→東京都と大阪府は都心的な特徴を有する（昼夜間人口率が大きく100を上回る）。

take care!
東京は中心部の地価が極めて高く，1960年代の高度経済成長期以降ドーナツ化現象が継続してみられている。しかしウォーターフロント地区の再開発やタワーマンションの建設などにより都心部に回帰する人口も多く，東京都の人口増加率は高い。

◆　郊外の特徴を有する県

→東京都の郊外；神奈川県・埼玉県・千葉県。
→大阪府の郊外；滋賀県・奈良県。
→これらの県では，昼夜間人口比率が100を大きく下回る。ほとんどの県で人口増加率が高く，平均通勤時間が長いなどの特徴もみられる。

◆　都市圏外（非大都市圏）

→東京大都市圏をモデルとして考えてみよう。人口増加率は中心部から外周部に向かって次第に上がっていく。しかし大都市圏（都心より半径50kmの範囲）を越えると，人口減少地域となる。都心部へと通勤が困難で，若年層が流出するのだ。

	都心部	郊外	都市圏外
地価	高	低	最も低い
人口増加率	低	高	最も低い
幼年人口率	低	高	最も低い
老年人口率	高	低	最も高い

take care!
昼夜間人口比率は，都心部で100を超え，とくに中心部で最高の値となる。郊外は全般に低い（外縁部がとくに低いということはない）。都市圏外では昼間人口も夜間人口もさほど変わらず，100に近い値となる。

＜たつじん先生からのひとこと＞
都市構造ジャンルではカタカナ言葉も比較的多く登場しています。注意しましょう。
スプロール現象・・・郊外において発生。虫食い状の乱開発。農地や林地の中に住宅や工場用地などが無秩序に分布。
ドーナツ化現象・・・主に日本の大都市において顕著。地価の高騰や住環境の悪化で人口が流出。しかし企業のオフィスや商業施設などは都心部に集中し，昼間人口は大きく夜間人口を上回る。
インナーシティ問題・・・「都心」問題。先進国の大都市にみられる都心部のスラム化。
ジェントリフィケーション・・・「高級住宅地化」。都心部のスラムが取り壊され，新たにマンションなどが建設される。高所得者の流入で地域の活性化ははかれるものの，旧住民が転居を余儀なくされるなど，問題点も多い。
例えばインナーシティ問題が日本の都市に対して使用される場合は注意してください。日本には原則としてスラムはないので，その文章は誤りとなります。またジェントリフィケーションは比較的新しいトピックなので，今後の出題率の上昇が予想されています。

＜基本問題を解いてみよう＞

［1］　世界の人口に関する問題ですが，とくに地域ごとの人口増加率の違いがポイントになっています。

①；世界の総人口は産業革命の時期から急増を始めました。とくに経済力を増した先進地域での伸びが著しかったのです。この時期の人口学者であるマルサスは「人口論」の中で，「食糧生産は等差級数的にしか伸びないが，人口は等比級数的に増加するので，将来的に食糧不足が生じる」と予言しており，当時は確かにそれほどまでの人口増加が懸念されていたのです。実際には，人口増加率の勢いは止み，農業生産性が上昇したことで，１人当たりの食糧生産量は増加しています。農産物が余る時代にはなっているのですね。

②；それまで多産多死だった発展途上地域において，「近代医療の普及」，衛生環境や食糧事情の改善によって死亡率や乳児死亡率が下がり，人口爆発という状態がみられました。多産少死です。

③；同じく現代の人口増加の様子ですが，地域別に考えてみましょう。最も人口増加率の高い地域はどこでしょう。

④；「平均寿命の伸び」ということはすなわち死亡率の低下ですね。出生率と死亡率がともに下がる「少産少死」の状態が現代の先進国ではみられています。

［2］　人口動態に特徴がある国としてインドが取り上げられる事例が，共通テストではとくに多くなっています。ただ，本問については発展途上国の一般的な傾向を考えればいいと思います。１人当たりGNIの低い国における状況ですね。先進国との対比で考えましょう。

①；発展途上国において就学率は低くなっており，同時に子どもが労働に従事する割合は高くなっています。彼らは低賃金での労働を強いられます。南米などにはストリートチルドレンも多いですね。

②；インドでは「一組の夫婦に子どもは二人まで」という家族計画の普及により，人口を抑制しようとしました。このことは必ず知っておいてくださいね。しかし，農業に子どもの労働力が重要であること，多産を歓迎する宗教的な考え方（ヒンドゥー教）が根強く，とくに伝統的な農村地域では出生率は下がりません。女性が早く結婚し，子どもを多くもうけるという生活文化も背景にあります。

③；社会福祉政策が充実するのはどういった国々でしょう。

④；選択肢②でも説明しています。とくにヒンドゥー教は多産を喜ばしいものと考えます。キリスト教やイスラム教と違い，性に対するタブーが少ない（だからこそ女性の地位が低いともいえるのですが）のもインド社会の特徴の一つです。

［３］

①；**問題［２］**でも触れたインドの人口抑制政策についての記述です。「工業化の進展」，「所得水準の向上」は間違いないと思われますが。

②；インドネシアにおける状況。インドネシアでは，首都ジャカルタが位置するジャワ島に人口が過度に集中しています。棚田が開かれた稲作地域で（三期作も可能），多くの人口を支えることができるゆえ，島内の人口は１億人を超えます。過度な人口集中を緩和するため，政府によって周辺の島々への移住が促進されています。トランスミグラシ政策です。

③；スウェーデンは高福祉国家です。女性の所得保障や子育て支援により出生率は上昇し，とくに合計特殊出生率（一生涯に女性が産む子どもの平均数）が一時期，人口置換水準（将来的に現在の人口数が維持される）の2.1を超えるなど，そうした政策が奏功しています。現在はやや低下しているものの，他の西ヨーロッパ諸国や日本，韓国などと比べれば高い水準となっています。

④；出題時点ではまだ一人っ子政策は実施されていましたので（2015年に廃止），その点は考慮して問題を考えてみてくださいね。

中国では30歳以下の人口がとくに少なくなっています。戦争や内戦の影響で現在の高齢者の数も少ないのですが，ボリュームゾーンである40～50代の人々が高齢者になった時，中国は一気に超高齢社会に変貌するかもしれません。

［４］

①；人口移動のセオリーを考えてみたらいいでしょう。原則として，１人当たりGNIの低い国・地域から高い国・地域へと人口が移動します。出稼ぎ労働者が仕事を求め移動する様子を考えればいいでしょう。とくにアメリカ合衆国においては，ヒスパニック（主にメキシコからの移民）や中国系の移民が継続して増加しています。

②；これも出題当時の状況ですので，注意してください。緩和が進んだ結果，一人っ子政策は2015年に廃止されました。

③；高福祉国家スウェーデンは，税金が高いことでも知られています。

④；インドの人口抑制政策とその効果について問われています。都市部と農村の

比較，出生率の変化，家族計画の内容など総合的に判断してください。

［5］ 図がありませんが，問題を解く上では関係ないので，文章をしっかり読んで矛盾点を探してみましょう。

①；インドにおけるヒンドゥー教文化です。早婚，多産が当たり前と考えられています。

②；１人当たりGNIと識字率は原則として比例します。西アフリカには，貧困や不安定な政治情勢などにより１人当たりGNIが低い国が多くなっています。

③；１人当たりGNIと出生率の関係を考えましょう。女性が学校に通わず字も読めず，高収入を得ることは極めて困難になっています。早く結婚して子どもを多く産むことが求められている地域があるのですね。

④；女性が社会進出し高い収入を得ることで全体の所得水準が上がり，すなわち１人当たりGNIが高まります。

１人当たりGNIと相関する指標を挙げておきます。例外も多いですが，今のうちにおおまかに理解しておいてください。

［１人当たりＧＮＩと比例］
・都市人口率・・・都市にて収益性の高い仕事に従事する。
・第３次産業就業人口率・・・第１次産業に比べ収入が良い。
・就学率・識字率・・・高い学歴を得て，高収入の仕事に就く。
・老年人口率・・・平均寿命が伸び，高齢者が増える。

［１人当たりＧＮＩと反比例］
・第１次産業就業者率
・年少人口率・・・老年人口率と反対の傾向をみせる。
・出生率・・・老年人口率が高い地域は相対的に若い世代が少なく，子どもの数は減る。
・人口増加率・・・出生率の低下による。
・乳幼児死亡率・・・医療水準や衛生環境の状況ととくに関係する。

なお，死亡率はいずれの国も大きな違いはない（人間が死ぬ回数は誰でも「一回」のみ）。ただ，あえていえば，経済成長が顕著な新興工業国（ブラジルやメキシコなど）で低くなっている。医療や衛生環境に問題のある発展途上国や，高齢者の割合が高い先進国では，やや高い。

［６］　都市の景観と機能に関する正文判定問題です。こういった問題の場合，本来なら誤文を３つ指摘して消去法で正文を拾い出すのですが，本問については正文を直接判定してしまった方がいいように思います。誤文があいまいでわかりにくいものになっています。

①；「CBD」という言葉が登場しています。CBDは都心部のとくに中心に形成されますよね（中心市街地）。市街地に関しては建物の密集地域と考えると妥当に思います。さて，市街地はCBDのみに限定されるのでしょうか。CBDの外側には市街地はないのでしょうか。

②；行政区分としての市に注目しましょう。一般に「○○市」といった場合，その全体において市街地すなわち建物の密集地域は広がっているでしょうか。建物密度の低い農村部や山間地域はみられないでしょうか。

③；「計画的に建設されたベッドタウン」についてはイメージが持ちやすいと思います。衛星都市やニュータウンとも称されるもので，主に郊外にみられますね。

さて，そうした住宅地に隣接して大規模な工業団地が存在するでしょうか。「職住近接」という言葉も登場していますが，さてベッドタウンの人々はどこで働いているのでしょう。

④；「都市圏」の定義です。都市圏は都心部と郊外の組み合わせからなり，通勤圏と一致すると考えてください。さて，この選択肢の文章内容はそれと合致していますか。

［7］　日本でもアメリカ型の巨大なショッピングセンターが増えています。その特徴について問う問題です。反対語を持つ言葉に注目してください。

①；「公共交通機関」の反対語は何でしょう？　人々はいかなる交通手段によってショッピングセンターに赴くのでしょう。

②；「幹線道路」というキーワードがありますね。ショッピングセンターの立地について考えてください。

③；「郊外」とあります。「都心部」の反対語ですね。「高層」について考察しましょう。

④；これは一般的にみなさんの周辺にあるショッピングセンターを考えてみたらいいと思います。設置されているのか，いないのか。

［8］　災害をテーマとした問題ですが，内容としては都市圏構造に関するものです。各選択肢の文章が長いので，確実にキーワードを拾い上げてください。

①；「大都市の中心部」すなわち都心部ですが，こういった場所には様々な人が訪れているのでしょうか。郊外や，都市圏外の農村との対比で考えてください。

②；「中枢管理機能を有する大都市中心部のオフィス街」とはCBDのことですね。官公庁や企業オフィスが集中しています。

③；「大都市郊外の住宅地では，夜間人口が少ない」は正しいでしょうか。郊外の反対語である「都心部」との対比。夜間人口の反対語である「昼間人口」との対比で考えてください。

④；「大都市郊外の住宅地」についてはニュータウンを考えればいいでしょう。「開発時期が新しいほど高齢者の比率」はどうなるでしょう。

⑤；大都市は人口がとくに多いので，罹災する人々も多くなると考えられます。

⑥；選択肢⑤とも重なります。多くの被災者に対し，大都市では都市化が進み，住宅は多くなっています。とくに体育館や学校などの公共施設が避難場所として使用されることも多いのですが，それらの施設についても農山村に比べて確

保しやすい状況といえるでしょう。

［9］　ロンドンは「開発」と「再開発」が大事です。

[ロンドンのニュータウン開発]

・ロンドン市内の過密解消を目的とする。
・20世紀の中頃を中心にロンドン郊外にいくつかのニュータウンが計画的に建設(ただしいずれも規模は小さい)
・ニュータウン内に企業や工場がつくられ職住近接が実現される。日本のニュータウンが職住分離(郊外から都心部へと通勤する)であることと異なる。
・市街地が無秩序に広がるのを防ぐために都市周辺にグリーンベルトがつくられる。

[ロンドン都心部の再開発]

・旧港湾地区ドックランズがスラム化（インナーシティ問題）したため，再開発が行われた。
・古い港湾施設や市街地は一新され，高層ビルを中心とした近代的な街区へと再生する。オフィスやマンション，商業施設やレジャーランドなど。
・ジェントリフィケーション（高級住宅地化）により活性化するが，旧住民が住居を失うといった問題も。
・なお，パリでは都心部の歴史地区は観光地として整備され，高層ビルの建設は制限された。郊外に副都心（ラデファンス地区）や移民の集住地区がつくられる。

［10］　世界の都市問題に関する設問です。キーワードを整理しましょう。

①；発展途上国の大都市では資本力が小さく投資が進まないため，インフラ整備は不十分です。交通渋滞は慢性化します。また先進国から入ってきた中古車が多いことから，排ガス対策も進みません。

②；「簡単な住宅」，「不法占拠」，「不衛生な環境」，いずれもスラムのキーワードですね。市街地の周辺などにスラムが広がります。

③；日雇い労働などの非正規の仕事をインフォーマルセクターといいます。発展途上国の大都市は雇用が十分でなく，こういった仕事で生計を立てる人々の割

合が高くなっています。

④；発展途上国では，国内に「たった一つの巨大都市」が形成されることが一般的で，プライメートシティと呼ばれます。産業と人口が過度に集中し，タイのバンコク，ナイジェリアのラゴスなどが例です。

第４講　人口・都市（練習問題）

＜基本問題＞

［１］　地球上の人口は増加し続けており，様々な特徴がみられる。世界の人口について述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2007年度地理Ａ追試験第４問問６）

① 産業革命期の世界の人口は，特にヨーロッパや北アメリカを中心に急速に増加した。
② 第二次世界大戦後，発展途上国を中心に高い出生率が続いており，近代医療の普及から人口爆発といわれる人口増加がみられる。
③ 1990年以降の年平均人口増加率は，地域別ではアフリカよりもアジアの方が高い。
④ 先進国の多くでは出生率の低下と平均寿命の伸びにより，少子化と高齢化が社会問題になっている。

［２］　人口動態はさまざまな要因によって変化するため，国・地域によって大きな差がある。インドにおいては政府が人口増加の抑制に努力し，出生率抑制のための啓蒙（けいもう）活動を行っている。この結果，出生率は低下傾向にあるが，依然として高い。その理由を説明した文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（2002年度地理Ｂ本試験第４問問２）

① 多くの家庭で子どもが低年齢から働きはじめ，家計の重要な担い手となっているため。
② 農村部の女性の教育と地位向上が不十分で，家族計画が普及しにくいため。
③ 社会福祉制度の整備が進み，十分な育児手当が保障されているため。
④ 宗教的な理由から，子どもをたくさん持つことを希望する人が多いため。

［３］ 人口問題への各国の対応について述べた文章として，下線部が適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（2007年度地理Ｂ追試験第5問問2）

① インドでは人口増加を抑制するため，1950年代以降家族計画を推進した。また，工業化の進展により国民の所得水準が向上したことで，農村を中心に出生率が低下している。

② インドネシアでは，都市の発達した島に人口が集中し，人口分布の不均衡が社会問題となっている。そのため，第二次世界大戦後からは，周辺の島の熱帯林地域への移住計画がすすめられている。

③ スウェーデンでは，合計特殊出生率が低下し，人口停滞が懸念された。そのため，保育施設や育児休業制度など女性が働きながら育児に取り組むための環境が整えられてきている。

④ 中国では，1979年から「一人っ子政策」をすすめたため出生率は低下した。近年は，年齢構成などのアンバランスの是正に向けて，政策の見直しがすすめられている。

［４］ 世界各国における人口の変化やそれにかかわる問題について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2006年度地理Ａ追試験第5問問1）

① アメリカ合衆国では，グローバル化の進展にともなって，人口の海外流出が進み，人口が減少し労働力不足が生じている。

② 中国では，「一人っ子政策」によって人口増加率が低下したが，将来的な若年労働力の不足や高齢化を考慮して，近年では政策を緩和しつつある。

③ スウェーデンでは，高齢者福祉や出産・育児への社会的援助が進んでいるが，企業や若年層の税負担が大きいという問題が生じている。

④ インドでは，都市部を中心に出生率が低下しつつあるが，国全体の出生率は依然として高く，家族計画を普及させる取組みが続けられている。

［５］　次の**図１**（省略）は，15歳以上の男性と女性の識字率を国・地域別に示したものである。**図１**を見て，その背景や課題の解決について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから，適当でないものを一つ選べ。

（2010年度地理Ｂ追試験第６問問１）

識字率の高低には，様々な社会的背景が影響している。南アジアや西アジアでは，男女の識字率に差がみられ，例えばインドでは，①伝統・慣習や宗教などが影響して，女性の識字率が男性のそれよりも低い。一方，アフリカのサヘルやギニア湾岸では，識字率が男女ともに低い国が多く，それには②貧困や不安定な政治情勢などが影響している。

女性の識字率の向上は，その国の③出生率の上昇にともなう人口の継続的増加をもたらし，さらに④多くの女性の社会進出を促すことが期待される。

［６］　日本の都市の景観と機能について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（2004年度地理Ｂ本試験第４問問５）

①　企業の本社・本店や営業拠点が集中しているところは，CBD（中心業務地区）とよばれており，その面的な広がりは，市街地の範囲と一致している。

②　第二次世界大戦後の市町村合併によって市域が広がった行政市では，市街地が市域全体に拡大し，農地はみられなくなった。

③　大都市周辺の計画的に建設されたベッドタウンでは，住宅地に隣接して大規模な工業団地が造成され，職住近接が実現されている。

④　都市圏は，中心となる都市およびそれと密接に結びついた周辺地域によって構成され，その面的な広がりは，通勤・通学・買い物など人々の行動によってとらえることができる。

［7］　日本のショッピングセンターのモデルとなったアメリカ合衆国の大規模なショッピングセンターについて述べた次の文①～④のうちから，最も適当なものを一つ選べ。（1997年度地理Ｂ本試験第１問問3）

① 公共交通機関が発達しているため，市民は毎日ショッピングセンターへ買物に行く。

② ショッピングセンターは，一般に幹線道路沿いなど，交通条件の良い場所に立地している。

③ 郊外型ショッピングセンターは，売場面積を確保するために，高層の駐車場を備えている。

④ ショッピングセンターには，レストランや映画館などの娯楽施設は設置されていない。

［8］　地震などによって発生する災害には，地域的特徴が反映される。日本の大都市地域に大規模災害が発生した場合に予想される危険性について述べた文として適当でないものを，次の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし，解答の順序は問わない。（2000年度地理Ａ追試験第２問問6）

① 大都市の中心部には，初めて訪れた人をはじめ，その場所のことをよく知らない人々がいるため，避難などが円滑にできない危険性がある。

② 中枢管理機能を有する大都市中心部のオフィス街が被災した場合は，影響がきわめて広域に及ぶ恐れがある。

③ 大都市郊外の住宅地では，夜間人口が少ないため，夜間に災害が発生した場合は，住民自身による緊急の救助活動などが困難になる恐れがある。

④ 大都市郊外の住宅地では，開発時期が新しいほど高齢者の比率が高いため，避難が円滑にできないなどの恐れがある。

⑤ 大都市では，負傷者数が膨大になることや道路が通行不能になることなどのため，救急医療が十分に行えない恐れがある。

⑥ 大都市では，多数の被災者のための住宅の確保が難しいため，被災時の居住地から遠く離れた場所での避難生活を強いられる恐れがある。

［９］　ロンドンの都市問題について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから，適当でないものを一つ選べ。(2012年度地理Ｂ追試験第5問問5)

ロンドンでは，流入人口が増加し，過密や環境悪化が深刻な問題となった。1940年代には，市街地の無秩序な拡大をおさえるために，①市街地の外側にグリーンベルトの設定が計画され，その②外側において職住近接を特徴とするニュータウンの建設がすすめられた。1960年代には，住民や企業の郊外への流出が増加し，都市の内部において，③低所得者の増加や治安の悪化，建物の老朽化といったインナーシティ問題が深刻となった。1980年代には，テムズ川沿いの老朽化した港湾地区(ドックランズ)を再開発し，④大規模な工業団地がつくられ，造船関連の労働者の雇用を生み出した。

［10］　発展途上国の大都市でみられる問題について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。(2007年度地理Ｂ本試験第3問問4)

① 急激な都市化に対応した道路や公共交通機関の整備が不十分で，交通渋滞や排気ガスによる大気汚染が発生している。
② 水道や電気がひかれていない土地に簡単な住宅を建てて不法占拠し，不衛生な環境の中で生活する人々がみられる。
③ 就業機会の少ない農村から流入した人々が，日雇い仕事や路上での物売りなど，不安定な仕事で生計を立てている。
④ 生活費や地価の高騰により，人口と事業所の多くが大都市から離れた地方都市に移動し，都心部が空洞化している。

＜発展問題＞

[11]　世界各国の少子・高齢化の状況や福祉対策などについて述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2002年度地理Ａ本試験第2問問7）

① アメリカ合衆国では，他の諸政策と同様に福祉に関しても，州の独自性が社会保障制度に反映されている。

② スウェーデンでは，老年人口率が世界有数の高さに達しているが，国民生活は手厚い公的社会保障制度に支えられている。

③ 中国では，一人っ子政策により人口増加の抑制が図られているが，これによる今後の若年労働力の不足や高齢者の扶養問題などが懸念されている。

④ ドイツでは，東西ドイツの統一に際し，社会主義体制のもとで築かれた東ドイツの社会保障制度が全面的に採用された。

[12]　世界の国・地域における人口動態について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（2009年度地理Ａ追試験第5問問2）

① インドでは，子どもを労働力として重視する考え方が，人口抑制を妨げる要因の一つである。

② ドイツでは，東西冷戦の終結とEU（欧州連合）の拡大を契機に，東ヨーロッパ諸国からの人口流入が進んだ。

③ ニュージーランドでは，1970年代以降，外国からの移民の受け入れを制限しているため，人口に占める外国出身者の割合は低下している。

④ 日本では，第二次世界大戦以降の２回のベビーブームを除くと，長期的にみた出生率は低下傾向にある。

［13］　世界各国における人口にかかわる課題について述べた文として適当でないものを，次の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし，解答の順序は問わない。
（2015年度地理Ａ追試験第4問問2）

① アメリカ合衆国では，同時多発テロ以降に入国審査が強化され，外国生まれの住民の人口が減少した。
② インドでは，家族計画が農村部まで浸透して若い世代の人口が減少し，労働力不足が生じている。
③ スウェーデンでは，出産や育児に対する支援が進み，合計特殊出生率が2000年以降回復傾向にある。
④ 中国では，人口増加を抑制する一人っ子政策がとられ，近い将来の急激な高齢化が懸念(けねん)されている。
⑤ 日本では，高齢化が進行しつつあり，高齢者福祉を支えるため若い世代の人々の負担が大きくなりつつある。
⑥ ブラジルでは，経済発展にともない大都市への人口集中がみられ，劣悪な居住環境などの都市問題が深刻化した。

［14］　世界の都市では様々な問題が生じている。日本における都市問題やその背景について述べた文として下線部が適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（2018年度地理Ａ本試験第4問問5）

① 大型小売店が郊外へ進出する一方で，都市の中心部の小売店が減少し，中心部に住む交通弱者の日常的な買い物が困難となっている。
② 高度経済成長期の住宅難解消のために建設された各地のニュータウンでは，施設の老朽化や住民の高齢化が問題となっている。
③ 都市で水害が生じる背景には，地面がコンクリートやアスファルトで覆われ雨水がしみ込みにくいことがある。
④ 都市のウォーターフロント開発がすすめられている背景には，農村へのＵターンによる人口減少にともなう空き地の増加がある。

[15]　日本の大都市圏における商業施設に関することがらについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2012年度地理Ｂ追試験第３問問５）

①　広大な面積を有して立地する郊外の大規模商業施設では，買い物に訪れる人々のほとんどが，公共交通を利用している。

②　住宅地内部に立地する商業施設では，購買頻度の高い日用品よりも，高級衣料品や宝飾品が多く扱われている。

③　衰退した港湾地区を再開発することによって誕生した商業施設では，主に港湾労働者向けの商品を扱っている。

④　大規模な百貨店は，大都市圏の中心部に立地する傾向があり，こうした百貨店には中心部からだけではなく，郊外からも買い物客が集まる。

[16]　日本でのモータリゼーションの進展にともなう生活や地域の変化について説明した文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2008年度地理Ｂ追試験第３問問５）

①　車に乗ったまま買い物ができるドライブスルー方式が普及した。

②　郊外や幹線道路沿いに，大型ショッピングセンターが増加した。

③　車を利用した生活や活動に便利な都心部で，人口増加がみられた。

④　バスや鉄道などの公共交通が縮小されたり廃止される地域がみられた。

［17］　発展途上国では，先進国とは違った都市化の特徴がみられる。それらの特徴について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2005年度地理Ｂ本試験第２問問５）

① 農村から流出した人口は，近隣の中小都市に集中するため，大都市の人口の伸びは小さい。
② 大都市では住民の所得水準が低いため，高級住宅地は形成されない。
③ 大都市では人口増加に社会資本の整備が追いつかず，不法占拠した土地で劣悪な住宅に住む人も少なくない。
④ 自動車の普及率が低いため，大都市での交通渋滞は発生していない。

［18］　発展途上国および先進国の都市環境と居住について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

（2004年度地理Ｂ追試験第４問問２）

① 発展途上国では，スラムなど不良住宅地区や住宅難の問題は，雇用機会の多い首都ではほとんど存在せず，主として地方都市においてみられる。
② 発展途上国では，先進国の経験をいかして，行政当局による積極的な対策が実施され，都市の公害問題が解消された。
③ 先進国の大都市では，短期的外国人居住者や移民の増加に対応して，従来からの住民との混住を図る施策が実施され，多民族共生社会が実現された。
④ 先進国では，都市の快適な環境の維持や創出をめざして，ウォーターフロント開発や老朽化した商工業地区の再開発への取組が各地でみられる。

［19］　発展途上国の都市問題について説明した次の文章中の下線部①～④のうちから，適当でないものを一つ選べ。（2016年度地理Ａ追試験第4問問4）

発展途上国の大都市では，都心部を中心に，①朝夕をはじめとした激しい交通渋滞がみられる。また，経済活動が活発化する中で，②環境対策が追い付かず，大気汚染が深刻であることが多い。さらに，都市化が進展する中で，③社会基盤の整備が遅れ，生活環境の悪い地区が形成されていることや，農村から流入した労働者の多くが，④低賃金で雇用が不安定な知識集約型産業で働いていることなど，様々な社会問題が発生している。

［20］　都市問題やその解決に向けた取組みについて述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。（2017年度地理Ａ追試験第4問問3）

①　旧市街地に高所得者が流入するインナーシティ問題がみられる。
②　郊外へ住宅などが無秩序に拡大するスプロール現象がみられる。
③　工場跡などが文化遺産として注目され，観光施設への転用がみられる。
④　自動車による大気汚染の対策として，排ガスを規制する動きがみられる。

第４講　人口・都市（練習問題解答）

＜基本問題＞

［１］正解；③

人口増加率はアフリカの方が高くなっています。死亡率が低いわけではありませんが，出生率が極めて高くなっているのです。南アジア（インド）や東アジア（中国）をしのぎます。

［２］正解；③

社会福祉制度の整備が進むのは，１人当たりGNIの高い先進国です。スウェーデンなど北ヨーロッパ諸国が好例ですね。インドは１人当たりGNIの低い発展途上国であり，該当しません。

［３］正解；①

インドでは家族計画の普及に努めてきましたが，中国の一人っ子政策とは異なり，全体として効果は薄いものです。とくに農村地域では多産を奨励する生活文化が残り，出生率は低下しません。ただし，工業化が進み経済成長を果たした都市部においては，やや出生率が抑えられてはいるようです。

［４］正解；①

アメリカ合衆国は１人当たりGNIの高い先進国であり，移民を受け入れる側の国となっています。ヒスパニックと呼ばれるメキシコなどからの移民が国土の南西部で多く，また近年は太平洋岸を中心に中国系の移民も増加しています。

［５］正解；③

「女性の識字率の向上」は女性の社会進出と経済的自立を促し，出生率は低下します。子どもの数が多い社会は，女性に過度の負担を強います。計画的な出産により，より成熟した社会が目指されるべきです。

［６］正解；④

都市圏の定義は「通勤圏」ですね。都心部のオフィスに通勤する人々が住む範囲

です。

①；「市街地」とは建物の密集しているところであり，そのなかには住宅地もあるでしょう。CBDは都心部の中心部(中心市街地)であるのに対し，その周りも「周辺市街地」であり，(住宅地や商店街，中小工場など)市街地は広がっています。

②；行政区分としての「市」と都市圏は一致しませんし，市街地も全域にみられるわけではありません。とくに近年の市町村合併によって，かつて農村だった過疎地域も市域に編入されるケースが増えています。

③；「ベッドタウン」は大都市圏の郊外につくられた衛星都市であり，都心部への通勤者が居住します。「職住分離」です。また，住宅地に隣接して大規模な工業団地が造成されるケースは稀だといえます。

[７]正解；②

ショッピングセンターは郊外の幹線道路沿いにつくられることが多いですね。

①；「公共交通機関」ではなく「自家用車」を用いて買い物に出かける人々が多いはずです。

③；「郊外」は都心部に比べて面積に余裕があり，地価も安くなっています。「高層」化する必要はありません。広い駐車スペースが確保されています。

④；複合型ショッピングモールなどではレストランや映画館なども併設されていますね。

[８]正解；③・④

③；郊外の住宅地(ベッドタウンなど)は昼間人口に比べ夜間人口(常住人口)が大きくなります。

④；高齢者の割合が高いのは「開発時期が古い」住宅地。高度経済成長期に造成されたニュータウンの中にはすでに高齢者ばかりのオールドタウンになっているところも。

[９]正解；④

ロンドン中心部のドックランズ地区は旧市街であり，荒廃が進みました。貧困層の流入でスラム化し，インナーシティ問題が深刻となったのです。このドックランズ地区を中心に再開発が進められ，古い港湾施設や建物は一層され，高層ビルを主とした近代的な街区へと再生を果たしたのですが，選択肢③はまさにその通りです。④が誤っているのがわかるでしょうか。都心部は面積が限られ，地価

も高くなっています。再開発されても工場が建設されることはありません。工場は広大な面積を必要とする施設であり，都心部に立地してコストが合うものではありません。

[10] 正解；④

発展途上国においてはプライメートシティが形成され，そこに産業や経済活動が集中するばかりでなく，農村から多くの人口が集まり，巨大化を続けています。少なくとも「大都市」で「人口」が地方都市に移動することはありません。「事業所」ももちろんこうした大都市に偏って存在します。

＜発展問題＞

[11] 正解；④

これはむしろ経済原則の問題でしょうか。「社会主義から資本主義へ」の流れこそ絶対的であり，社会主義的なものは否定されていきます。競争がなく，国が全ての経済活動を決定する社会主義では経済が停滞します。経済発展のために，自由競争の原理を導入する資本主義へと世界は向かっています。東西ドイツ統一により，東ドイツの社会主義は消滅しました。ただし，現在でも東西の経済格差は残り，旧東ドイツからルール地方やミュンヘンなどの工業地域へと仕事を求めて移動する人々は多くなっています。

①；アメリカ合衆国は，州政府による独自の政策が行われる「連邦」国家です。他にはスイスが有名ですね。

②；スウェーデンは高福祉国家です。ただし，税負担が大きいことは問題となっています。

③；中国では一人っ子政策によって出生率が低下し，人口増加は抑えられました。しかし，今後は急激な高齢化が懸念され，若年労働力の不足による負担増が確実視されています。

[12] 正解；③

ボーダーレスが進む現代社会において，ヒトやモノ，カネの国境を越えた移動はさらに活発化します。ニュージーランドはそもそも移民であるヨーロッパ系の割合が高い国ですが（先住民はマオリ），現在は中国などアジアからの移民も増加しています。なお，だからといって中国語が公用語とはなっていないので注意し

てください（過去に出題例あり）。公用語は英語とマオリ語です。

①；インドだけでなく発展途上国一般にみられる傾向です。

②；21世紀に入りポーランドやチェコなど旧社会主義の東欧諸国が多くEUに加盟しました。EU圏内では人口の移動が自由であり，多くの労働者がドイツへと流入しました。

④；日本では戦後すぐ（1940年代後半）に第１次ベビーブームがあり，彼らの子の世代が生まれた1970年近辺に第２次ベビーブームがありました。しかし，それらの例外的な時期を除けば，出生率は低下し続けています。新生児の数は年間100万人を切っています。

[13] 正解；①・②

①；アメリカ合衆国が入国審査を強化したのは事実ですが，ヒスパニックや中国系など外国にルーツを持つ人々は多くなっています。このような国境を越えた人的交流はさらに活発化しています。

②；インドでは人口抑制がスムーズに進みません。とくに農村においては依然として出生率が高くなっており，労働力不足は生じていません。

他の選択肢についてもチェックしておいてください。とくに難しい内容ではないと思います。

[14] 正解；④

ウォーターフロント開発は，横浜のみなとみらい21地区などが挙げられます。埋立地の造成，港湾や工場跡地の再開発により，オフィスビルやマンションなどが建設されています。「農村へのＵターン」がその理由なのでしょうか。

①；「大型小売店が郊外へ進出する」ことは間違いありませんね。「都市の中心部」ではどうでしょうか。東京など大都市を考えても構いませんし，あるいは小さな地方都市を考えてもいいでしょう。「小売店が減少」，「日常的な買い物」の２点について判定してください。大都市の都心部では意外にスーパーマーケットが少ないな，とか，地方都市の駅前商店街はいわゆるシャッター通りになってしまっているな，など具体例はいくらでもあると思います。買い物が困難な状況は十分に想像できるでしょう。

②；ニュータウンは「新しい町」ですが，しかしそれらの中には高度経済成長期の1960年代に開発されたものもあるはずです。東京の多摩ニュータウン，大阪の千里ニュータウンなどは大規模な開発地域ですが，開発年代も古いものです。「施

設の老朽化や住民の高齢化」は問題となっているのでしょうか。ニュータウンの特徴の一つに，世代の偏りが顕著であることが挙げられます。入居時は20～30代の若い夫婦だったのが，現在は60～70代の老夫婦になっているわけです。

③；最近は透水性・保水性のあるアスファルトも開発されているようですが，あくまで一般的な傾向としてはこのようなことがいえるのではないでしょうか。

[15]正解；④

消去法で考えてみましょうか。それぞれの文について「反対語」を持つ言葉をピックアップしていくのです。

①；土地に余裕のある郊外にはショッピングセンターに代表される大規模商業施設が立地しますよね。しかし，彼らは自家用車にて買い物に訪れ，こうした大規模商業施設も幹線道路沿いで，広い駐車場を有していることがしばしば。バスや電車などの「公共交通」を利用する人は少数派でしょう。

②；「日用品」と「高級」品との対比。日用品や生鮮食料品などは「最寄り品」と呼ばれ，これを扱う商店（スーパーマーケットやコンビニを考えるといいでしょう）は，都市圏構造とは関係なく，都心部だろうが郊外だろうが都市圏外だろうが，人が居住していれば必ず近隣に立地しています。それに対し，高級衣料品や宝飾品などは「買い回り品」と呼ばれ，これを扱う商店（百貨店ですね）は，都心部に立地します。バスや鉄道など交通手段が整備されており，広い範囲から客を集めることができます。さて，この選択肢②が説明するのはどちらの事例でしょうか。「住宅地内部」とありますから，もちろん最寄り品ですよね。コンビニやスーパーが立地し，日用品が扱われています。誤文です。

③；「衰退した港湾地区」を再開発した例としてはロンドンのドックランズが有名ですが，日本でも横浜のみなとみらい21など比較的よくみられます。再開発によって高層ビルが林立する近代的な街区となり，オフィスやマンション，さらには商業施設やレジャー施設も集まります。そもそもこうした旧港湾地区は「都心部」なのですから，都市圏の広い範囲から人が集まり，商業施設も多くの買い物客で賑わいます。むしろ「港湾労働者」は減っているはずですよね。誤文です。

以上より，選択肢④が正文となります。どうでしょうか？　都市圏についてごく当たり前のことが説明されているだけですよね。大規模な百貨店（デパート）が都心部に立地し，商圏（買い物客を集める範囲）は都市圏全体に及びます。「都市圏＝都心部＋郊外」なのですから，「こうした百貨店には中心部からだけではなく，

郊外からも買い物客が集まる」ことは真理なのです。

[16]正解；③

確実に誤っている部分を直接指摘してしまいましょう。それは「車を利用した生活や活動に便利な都心部」という部分です。都心部の面積は限られ，自動車で移動しようとすればすぐに交通渋滞に巻き込まれてしまいます。バス路線や鉄道が集まり，こうした公共交通機関を用いた方が便利ですよね。実際，東京都や大阪府は人口当たりの乗用車保有台数が全国最下位レベルです（人口が多いので，実数としての乗用車の台数は多いですが）。選択肢③を誤りとしましょう。なお，後半の「人口増加」についても誤りと見ていいと思います。かつて駅前商店街が栄えていたような都市においても多くの店舗が閉店し，今やシャッター通りとなっているところが多いですよね。郊外へと一戸建ての住宅を求める人も多く，地価の高い都心部はむしろ人口減少地域と捉えるのが一般的です。

もっとも，東京区部のように（東京大都市圏の）都心部ではありますが，顕著な人口増加を見せている地域もあり，必ずしも「都心部＝人口減少」ではないのですが。

他の選択肢については疑問の余地はないと思います。一応，チェックしておいてくださいね。

[17]正解；③

「社会資本」すなわちインフラの整備が不十分です。スラムに住む人々こそ多いですね。

①；発展途上国では特定の大都市に産業や経済活動が集中します。農村から仕事を求め多くの人々が押し寄せることで人口も爆発的に増加します。ただし，彼らの多くはスラムに住み着くだけなのですが。

②；発展途上国の大都市であってももちろん高級住宅地は存在します。都市内部は一部のみインフラ整備が進み，CBDや高級住宅地はそこに集中しています。

④；経済レベルが低く「自動車の普及率が低い」ことは間違いないでしょうが，実数としての自動車の台数はどうでしょうか。道路も整備されず，例えば信号機も少ないことを考えれば，交通渋滞が深刻であることは十分に想像できます。

[18]正解；④

ロンドンの事例を考えればいいでしょう。ロンドン都心近くの旧港湾地区であ

るドックランズは再開発によって近代的な街区へと変貌しました。「ウォーターフロント開発」の代表例ですね。

①；発展途上国の大都市にはほぼ例外なくスラムが形成されています。そして，首都の多くは人口規模の大きなプライメートシティです。原則として「首都＝大都市＝スラム」であり，この選択肢が誤りであることがわかります。発展途上国において産業が集積し，雇用が多いのは大都市です（そして，その多くは首都でもあります）。しかし，そこですら全ての人に雇用があるわけではなく，仕事にありつけなかった人々はスラムに住み着くのです。

②；「公害」については具体的に考えてみてもいいと思いますよ。自動車の排ガスによる大気汚染や，衛生環境の悪化による水質汚濁などでしょうか。公害問題は先進国以上に深刻です。

③；先進国の大都市ですから，ニューヨークが代表例でしょうか。都心部のスラムには多くの少数民族や移民系の人々が居住地区を明確にして暮らしています。チャイナタウンやユダヤ人街といったところですね。各民族の独自性を尊重して，お互いあまり干渉することなく生活しているのですが，「混住」や「共生」といった状態からは程遠いですね。人種や民族の壁が低く，交流も活発に行われ，多くが混血である中南米社会とは異なっているのですね。

[19]　正解；④

「知識集約型産業」は高い教育水準と特殊な技術力を要しますので「低賃金で雇用が不安定」ということはないでしょう。選択肢④が誤りですね。発展途上国では就学率も低く，高等教育を受けられる人々の数も限られています。知識集約型産業も一部の国（中国やインドなど）を除けば発展していません。「低賃金で雇用が不安定な非正規労働（インフォーマルセクター）で働いている」としましょう。

[20]　正解；①

選択肢①が誤っているのがわかるでしょうか。「インナーシティ問題＝スラム」です。インナーシティ問題解決のために都心付近の旧市街地（スラムとなっています）が再開発され，整備された都市区画へと変貌し，マンションには高所得者層が流入します。これ，「ジェントリフィケーション」ですよね。インナーシティ問題とジェントリフィケーションが混用して出題されるケースが目立っていますので，言葉の用い方には細心の注意を払ってください。

他の選択肢については問題ないでしょう。選択肢③の例としては，日本におけ

る長崎県の軍艦島観光などがあるでしょうか。炭鉱跡であり「工場跡」ではありませんが，類するものと考えていいと思います。また，稼働しているコンビナートなどを観光するツアーも人気を集めているようです（こちらも「工場跡」ではありませんが）。

選択肢④については，ロードプライシング制度が挙げられます。ロンドンでは，市街地の特定の道路の通行について，一般道であっても一定の金額が課せられます。これにより，自動車の走行台数は制限され，大気汚染など自動車公害の抑制に役立っています。

〈 ***Note*** 〉